

(4) 胸が痛い

こんなとき、救急車を！



次のような症状が約30分以上続く場合は、しんきんこうそく心筋梗塞の疑いがあります。

- 胸がしめつけられる、押されるような痛みを感じる
(ほとんどの場合、胸の痛みですが、まれにあご・首・肩・腕などに痛みを感じることもあります)
- 胸などが痛むほかに、次のような症状を伴うこともあります。
 - ・息苦しい
 - ・めまいがする
 - ・手足が冷たく湿っている、冷や汗が出る
 - ・吐き気がある

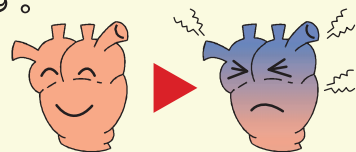
ワンポイントアドバイス



心筋梗塞とは

心臓の筋肉に必要な酸素と栄養を運ぶ血管が心臓を取り巻く冠動脈かんどうみやくです。その冠動脈の内腔に動脈硬化によりコレステロールなどがこびりついて狭くなり、血液が十分に流れなくなった状態が狭心症きょうしんしょうです。

そして狭心症がさらに悪化して、血栓により完全に閉塞すると、心臓の筋肉は死滅して、心不全、不整脈などを引き起こすのが心筋梗塞です。



血液が十分に流れなくなると胸などが痛くなることがある

心筋梗塞を予防するには

狭心症や心筋梗塞を予防するには、動脈硬化にならないことが重要です。動脈硬化を引き起こす原因として、高血圧症、糖尿病、高脂血症、肥満、喫煙、ストレスなどがあります。ほとんどが生活習慣病と呼ばれている病気で、もし、これらの因子があれば、早めに治療や改善が必要です。

日ごろから、これらの因子を減らすように、規則正しい生活を心掛けましょう。

心筋梗塞は早期発見が重要

胸部から上半身の強い痛みが持続する場合は、胸の痛みでなくても放置せずに、できるだけ早く医療機関を受診しましょう。

